

令和6年10月号

うつみ進学塾

東雲(しのめ)

vol.67(307)

とても厳しい猛暑の日々がいつまで続くのか…と、思われましたが、台風の襲来と一緒にあっという間にどこかに運び去られたようで、昼間はまだまだ暑い日もありますが、朝・晩はひんやり涼しさを感じられるようになり、秋の訪れを感じるようになりました。ここ数年、春が冬から夏への移行期間で、秋が夏から冬への移行期間みたいで、春と秋が短くなっている(泣)のを感じていましたが、今年は長い秋をかんじられるようになるといいですね。個人的に余裕があれば、みんなが学校に行っている間に…?と、邪な気持ちを抱いたりしています(笑) そんなに遠くは行けないでしょうけど…

秋の話を書いています。塾の前では「ひまわり」がこれから咲いてくれますし、「ハイビスカス」もまだまだ元気です。塾の前は、未だに夏真っ盛りです。

10月は各学校で中間テストが行われます。今月の下旬まで続きます。体育祭や文化祭があって気持ちの切り替えが難しい所もあるかもしれませんが、テストは予定通りにやってきます。しっかり準備して備えるようにしましょう。中3生にとっては、高校進学に向けて今後のテストは今まで以上に大切なものになってきます。とくに、これまでは3学期の最初の学年末テストが一番大事な試験になりましたが、公立入試が早まったこともあり2学期の期末試験が一番大切な試験になりました。蟹中と言うと、11月と12月のテストになります。今回の試験で一人一人の内申点が正式に決まります。自分の行きたい高校への必要な内申点を意識して、どうやってそれをクリアしていくのか、計画立てて勉強していくようにしましょう。

受験生じゃない人も、「ぼくは(私は)、まだ受験生じゃないから良いや…」なんて思わないように！ 受験生になったら、当たり前みんな勉強をするようになるので、前もって始めて受験生になったら少しでも余裕を持てるようにとの意識を持って頑張ってください。

もし勉強を嫌なことだと考えているなら、私たち人間は嫌なことからずっと逃げているだけでは進歩はありません。嫌なことをやるという事が自分の目標達成への第一歩になるのかもしれませんが。そんな気の進まないことをやるのに役に立つのが、計画をたてること。

中には、計画を作るだけで「十分に勉強できた♪」と満足してしまう人や、あまりにも息を抜く暇がない完ぺき人間の予定表を作ってしまう人がいます。これらの人の気持ち、ぼくにも経験があるから分かります。勉強の予定を作るときは何だかやる気に満ちていて、どんなことでも出来そうな気がするんですね。そして、少しずつ予定が狂って一週間もすると、予定は未定の状態に…(泣) そこから、私が学んだ大切なことは、予定表を作るときには予備日をつくるという事。3~4日に1日くらいの割合で、予定の無い日を入れておきます。そうすると、学校で疲れたりして消化できなかつた予定も予備日を使うことで消化できます。もし自分の立てた予定通りに勉強が進んでいけば、予備日にそれまでの気になる所を復習しても良いですし、先に進むのもOKです。せっかく作った予定が崩れてしまっただけは、やる気も

なくなってしまう。ずっと前向きで頑張れるように強いやる気を持ち続けられるような予定を作ってテストに挑んでみてはどうですか？すでに中間テストが終わった人も、次の期末テストを目指して具体的な予定表を作ってみてはいかがでしょうか？中には、学校から予定表を渡されて試験が終わってから提出するために、せっせと表を埋めている人もいます。もしかすると、良いチャンスを逃しているかもしれないですよ。

満足できる予定表が作れたら、あとは実行あるのみです。もし、予定表を作らないで試験に臨んでいたとしても、しっかり試験勉強ができたのなら自信をもって試験を受けるようにしてください。過信は当然ダメですが、自信を持っていても良い人が自信を持たないで試験を受けるのは、試験開始のスタートの段階で大きく損をしています。「ぼく(私)は、これだけしっかり勉強したんだから出来るはず！」と、思って試験に臨んでもらうだけで地に足をつけて問題を解いていけるようになります。試験は限られた時間の中で、自分の出来る問題を確実に解いていければ良いです。問題数が多くても焦る必要はありません。他の人たちも同じように感じていますから。いかに早く平常心を取り戻せるか、どれだけ平常心を持って試験を受けることができるかが大切です。まずは、試験においてみんなが普段から持っている実力をきちんと出せますように！